

船橋市の現状分析

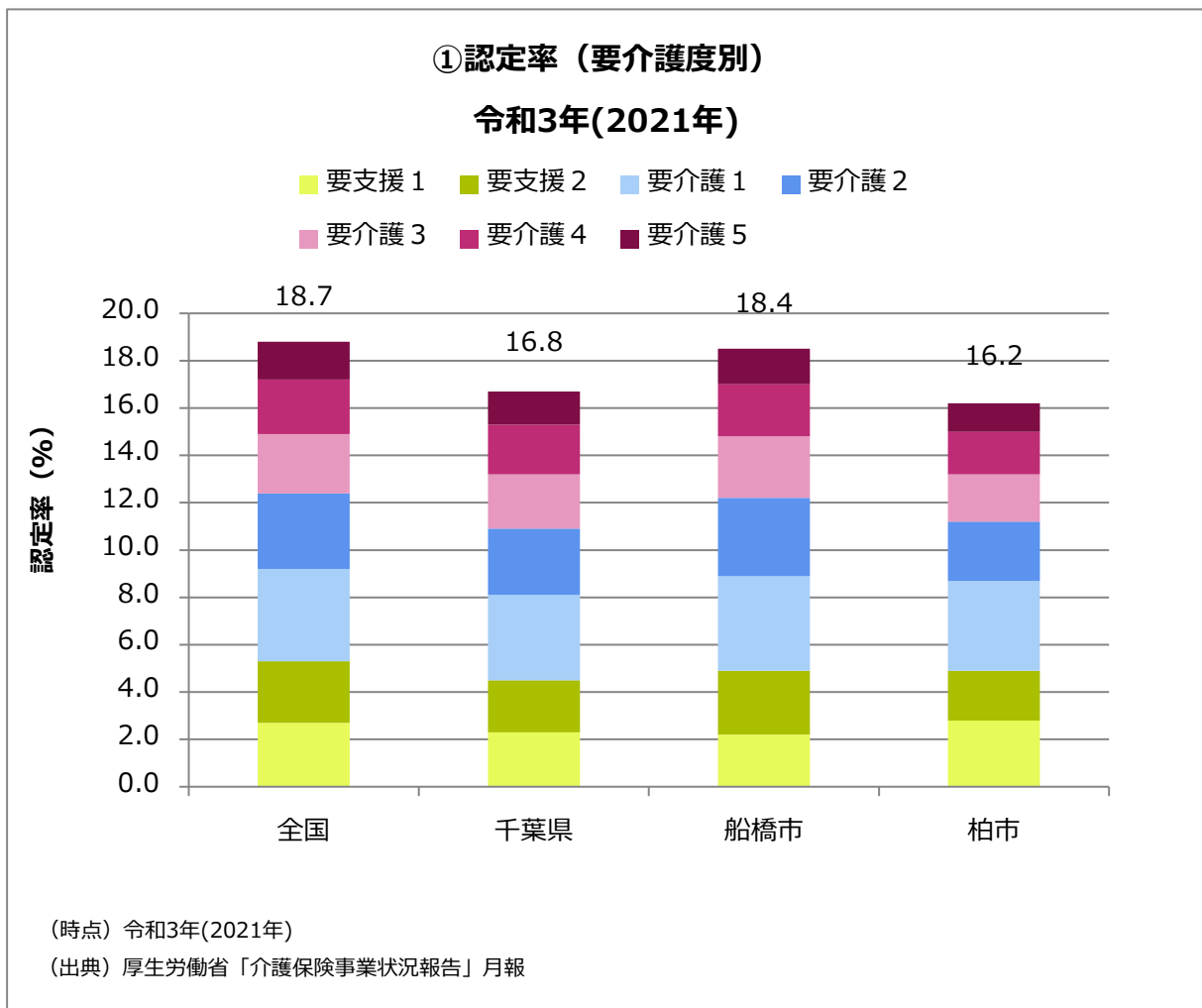
1. 認定率について

船橋市の認定率は 18.4%、全国平均と比べると低い（認定率 18.7%）。しかし、千葉県平均や県内の中核市である柏市と比較すると認定率は高い（千葉県平均 16.8%、柏市 16.2%）。

一般に、75 歳以上の後期高齢者になると認定率が高くなり、船橋市は今後後期高齢者割合が増加することから、ますます認定率が増加していくことが予想される（第 8 期介護保険事業計画における令和 7 年度の認定率は 21.6%）。

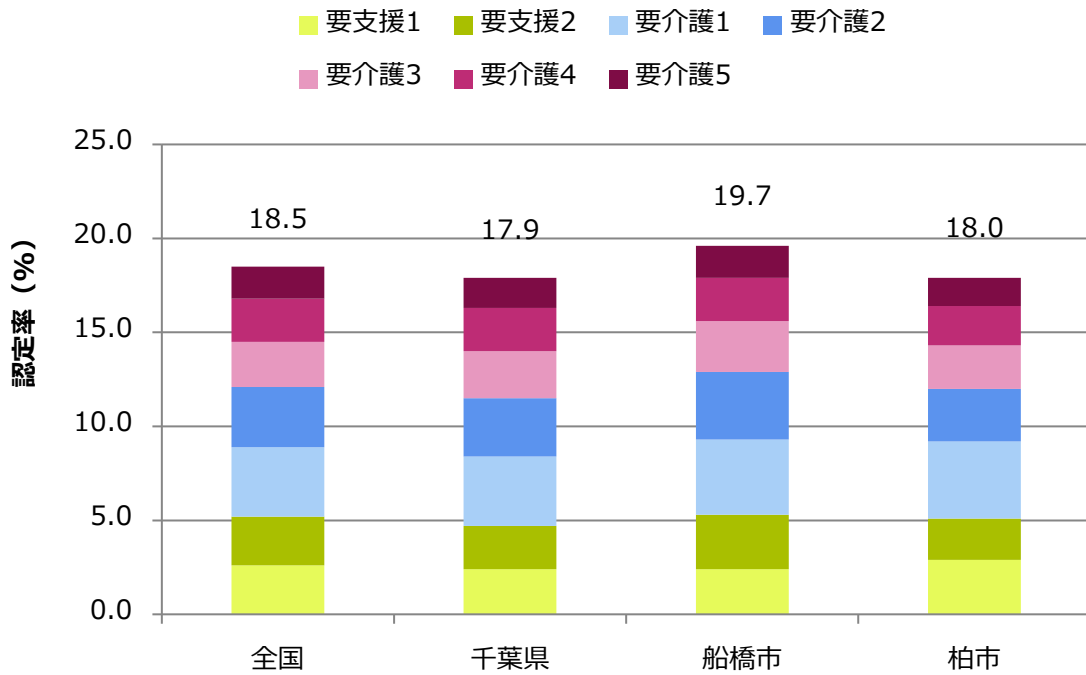
さらに、次ページにある調整済み認定率（性・年齢調整を行い、同じ人口構成と仮定する。後に詳細説明を記述。）においては、船橋市の認定率は 19.7% で全国平均よりも高い数値となる。（全国 18.5%）。

今後、地域包括ケアシステムの中で介護予防・重度化防止の取組を推進していくことで、認定率の上昇を軽減することができるものと思われる。



②調整済み認定率（要介護度別）

令和元年(2019年)



(時点) 令和元年(2019年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

調整済み認定率とは・・・

調整済み認定率とは、認定率の大小に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢別人口構成」の影響を除外した認定率を意味します。

一般的に、後期高齢者の認定率は前期高齢者のそれよりも高くなることがわかっています。第1号被保険者の性・年齢別人口構成が、どの地域も、ある地域または全国平均の1時点と同じになるよう調整することで、それ以外の要素の認定率への影響について、地域間・時系列で比較がしやすくなります。後期高齢者の割合が高い地域の認定率は、調整することで下がります。

調整手法の概要

A市の調整済要介護認定率＝

(A市)男性・65～70歳
の要介護認定率

×

(全国)男性・65～70歳
の第1号被保険者数

+・・・+

(A市)女性・90歳以上
の要介護認定率

×

(全国)女性・90歳以上
の第1号被保険者数

(全国)男性・65～70歳
の第1号被保険者数

+・・・+

(全国)女性・90歳以上
の第1号被保険者数

※性・年齢5歳階級別の第1号被保険者数については、住民基本台帳の性・年齢5歳階級別人口データから、各層が65歳以上人口に占める割合を算出し、その割合で第1号被保険者数を按分して算出する。

厚生労働省老健局介護保険計画課「介護保険事業（支援）計画策定のための地域包括ケア「見える化」システム等を活用した地域分析の手引き」より

2. 受給率について

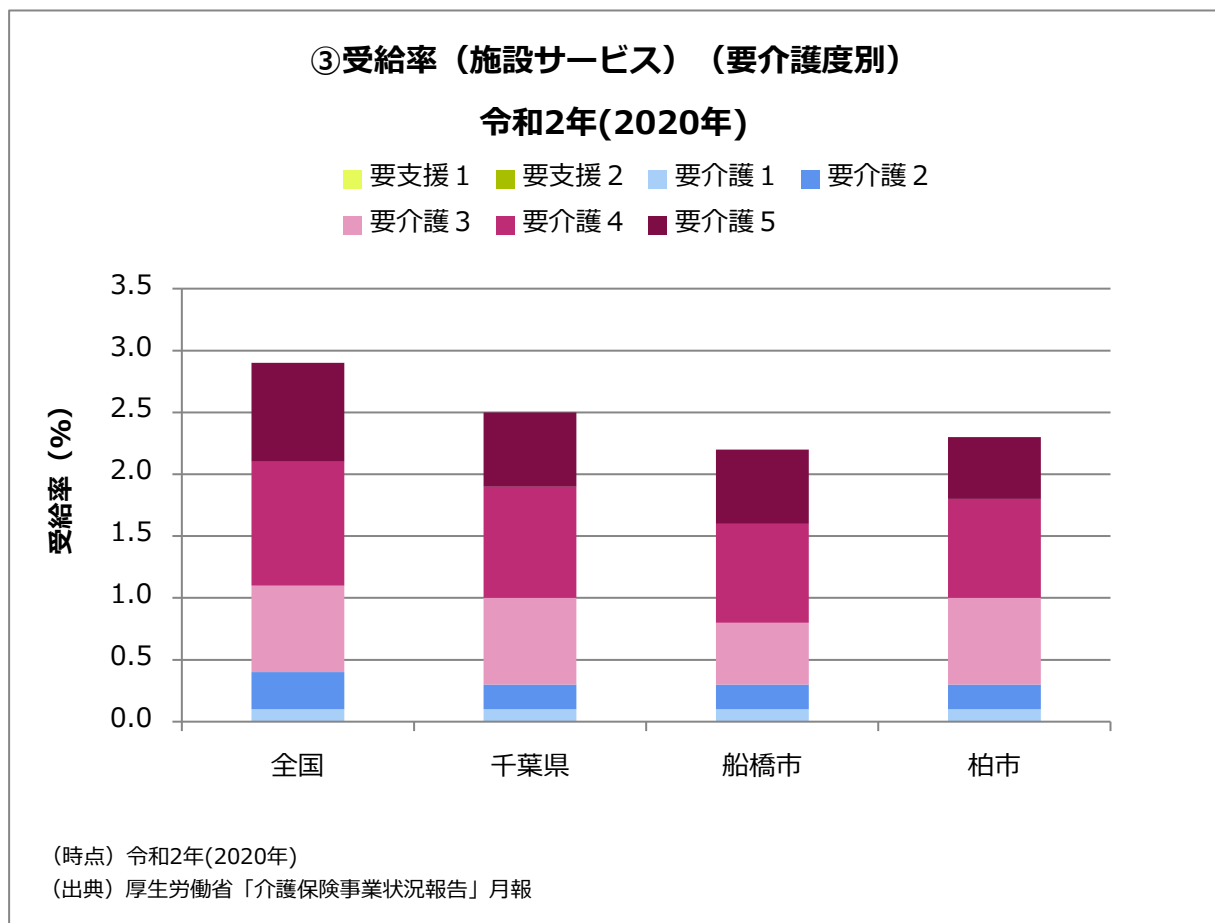
船橋市の施設受給率は2.2%であり、全国平均、千葉県平均と比べると低い。（全国2.8、千葉県平均2.4%、柏市2.2%）。

また、次ページにある船橋市の在宅受給率は9.4%であり、全国平均と比べると低い（全国9.9%）。しかし、千葉県平均や柏市と比較すると受給率は高い（千葉県平均8.5%、柏市8.1%）。

船橋市は、施設利用より在宅受給率が高いことから、在宅利用者多いことが伺える。

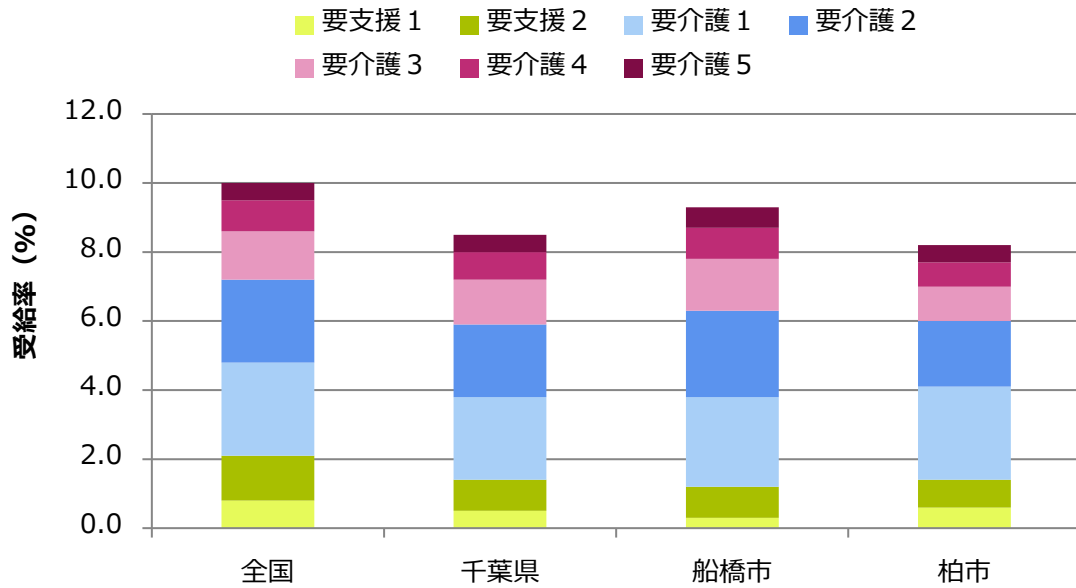
受給者1人当たり給付月額（要介護度別 在宅サービス）では122,979円であり、全国平均、千葉県平均、柏市と比べると高い（全国118,274円、千葉県平均118,816円、柏市118,391円）。

現在は、全国平均、千葉県平均及び柏市と比較して低い施設受給率だが、今後は認定率の上昇とともに高くなることが想定される。そのため、第8期介護保険事業計画においては、介護老人福祉施設を190床整備する計画となっている。



④受給率（在宅サービス）（要介護度別）

令和2年(2020年)

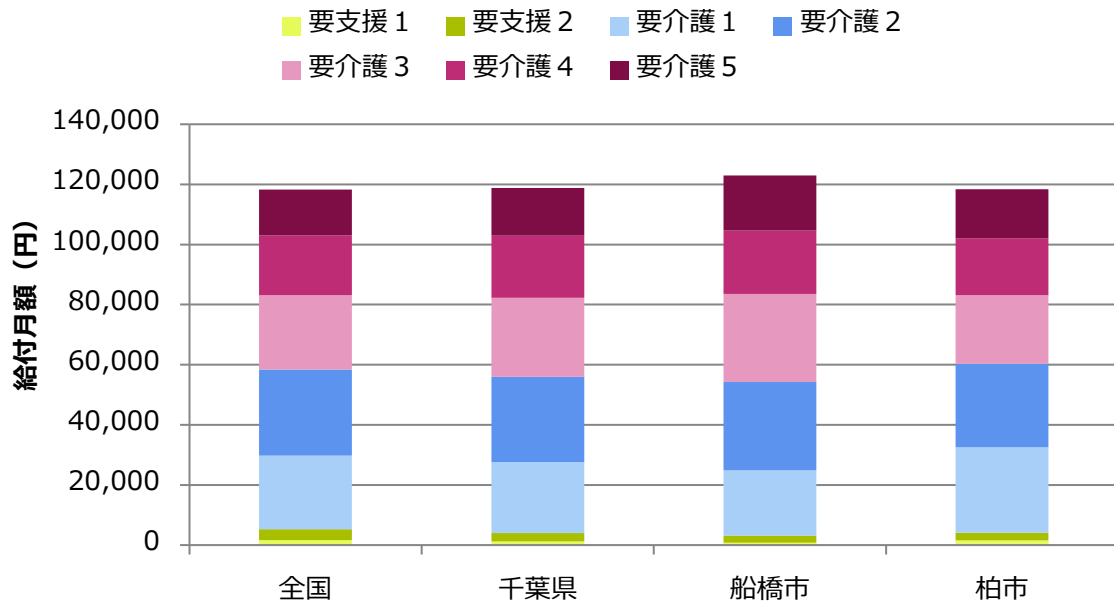


(時点) 令和2年(2020年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

⑤受給者1人あたり給付月額（要介護度別）（在宅サービス）

令和2年(2020年)



(時点) 令和2年(2020年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報